

〈 R1 やまがた木育推進事業 〉

【目的】 森林や自然環境を適正に保全していくためには、直接的な保全活動への支援と併せて、県民の森林等に対する理解の向上が不可欠である。このため、「森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめ直し、森や自然の恵みに感謝し、自然との共生の文化を理解・共感できる豊かな心を育み、森との絆を深め、暮らしの中に木を活かしていくこと」を「やまがた木育」と定め、森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人づくりを目指す。

やまがた木育推進事業の概要

【事業の基本方向】

- ・ 「やまがた木育」は、人生のあらゆる場面を通して、乳幼児からお年寄りまでの全ての世代で取り組む。
- ・ 幼い頃から育まれる森や自然に感謝できる豊かな心は、子どもの視野を広げ、地域を愛する気持ちの礎になるため、子どもに対する取り組みを重点的に実施する。

【(1) やまがた木育推進委員会の開催】

「やまがた木育」を推進するため、やまがた木育推進委員会を開催し、情報の共有・意見交換を行う。(9月 年1回開催)



木育絵本 木育ブック 木育クラフト

【(2) 子どもの成長に合わせたやまがた木育の推進】

「やまがた木育」を通して育まれる森や自然に感謝できる豊かな心は、子どもの視野を広げ、地域を愛する気持ちの礎になるため、子どもの成長に合わせた教材を提供する。

- | | | | |
|----------|---|--|------------------------------|
| ① 未就学児 | ： | 「やまがた木育絵本」 | 【主な配布先：図書館】 |
| ② 小学生低学年 | ： | 「やまがた木育ブック」、「木育クラフト(木製スプーン)」 | 【主な配布先：放課後児童クラブ、県民の森、少年自然の家】 |
| ③ 小学校高学年 | ： | 副教材「やまがたの森林」及びガイドブック、ポケット版教材「森のたんけん手帳」 | 【主な配布先：小学校、緑の少年団】 |

やまがたの森林 森のたんけん手帳

【(3) 県民みんなでやまがた木育の推進】

「やまがた木育」の考え方を理解し、指導できる人材を育成するため、養成講座を開催する。

やまがた木育スタートアップ講座(対象「やまがた木育」に興味があり取り組みたい人(幼稚園教諭や放課後児童クラブ指導員及び県民の森の案内人)村山・置賜ブロック、最上・庄内ブロックで、各1日、募集人数30名程度)



【事業効果】 「やまがた木育」を通して「森からの恩恵を受けるのみではなく、一人ひとりが森と共に生きていることや、木を活かす暮らしの大切さを改めて理解し、行動を起こすことができる人」が育まれることにより、森づくり参加者の増加や山形の森や木に対する愛着が生まれ、県民の森林等に対する理解や豊かな緑を育む意識の醸成を図ることができる。